

# 名城大学附属高等学校自然科学部での出前講座実施報告書



## 1) 講座の様子

名古屋自然保護官事務所は、6月26日(土)に名城大学附属高等学校自然科学部(30名)を対象に、藤前干潟についての講座を行いました。

本講座は、矢田・庄内川をきれいにする会の二枚貝調査の前に実施されました。日頃から活動されている庄内川と藤前干潟の繋がりや、藤前干潟の生物多様性の重要度を理解した上で調査に参加してもらおうというねらいがありました。藤前干潟について、多くの生き物たちの生息場所になっているという役割や漂着ゴミの問題などの現状を説明したあと、藤前干潟を形成する上で欠かせない河川との繋がりの説明をしました。藤前干潟に注ぐ河川の源流を知っているか問いを投げかけたところ、困った表情で近くの友達と話している姿が印象的でした。木を見て森を見ずという言葉もあるように、1点だけを見るのではなく全体を見ることの大切さに気づいてもらえたのではないのでしょうか。自然環境だけでなく、私たちが生きていくうえでも同じことが言えると感じます。

コロナ禍で部活動も制限される中ですが、講座の後には、実際に二枚貝(主にヤマトシジミ)や他の生き物を楽しそうに観察している様子が見られ、生物層の豊かさに興味を惹かれていました。シジミがうまく採れなかったグループもあり、河口も日々刻々と変化を続けていると感じましたが、今後もこの豊かな藤前干潟を守っていくためには、流域全体の連携が欠かせません。彼らもその一員として今後活躍してくれることを願います。

## 2) 講座の内容

テーマ：藤前干潟の役割と河川

1. 藤前干潟とは
2. 藤前干潟の役割と現状
3. 藤前干潟と河川とのつながり
4. 質疑応答



<真剣に講座を聞く生徒たち>



<調査の様子>

## 3) 実施概要

実施日：令和3年6月26日(金) 10:00~10:30

場所：稲永ビジターセンター

対象：名城大学附属高等学校自然科学部(30名)

対応：名古屋自然保護官事務所職員1名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所  
(TEL: 052-389-2877) までお問い合わせください。

令和3年7月9日

名古屋自然保護官事務所

アクティブ・レンジャー 岸晃大